

ブルガリアの石彫作家が来日

ブルガリアの石彫作家キリル・メスキン氏とミルカナ・メスキン氏父娘が「アーティストインレジデンス」国際交流事業で今月11日に来日いたします。

滞在は約1か月。岩瀬石彫展覧館で、みかげ石による作品つくりと、国民文化祭の時期でもあり、記念のモニュメントを制作します。滞在中、市内の石材業者や伝統工芸士・技能士のみなさんと交流をはかるのももちろん、市内の小中学校と交流したり、民俗芸能や伝統文化に触れたり、さまざまな人たちと友好の輪を広げます。

来日作家紹介

■キリル・メスキン氏

1943年、ブルガリア プレーベン生まれ。ペリコ・タルノボ総合大学彫刻科卒。ブルガリア芸術家協会会員。主な作品は大理石を使った作品で、ブルガリア国立美術館はじめ、ソフィア美術館などに作品が收藏され、アメリカやベルギー・フランス・イタ

リアなどでも作品が展示されています。



キリル・メスキン氏の作品「メッセー」

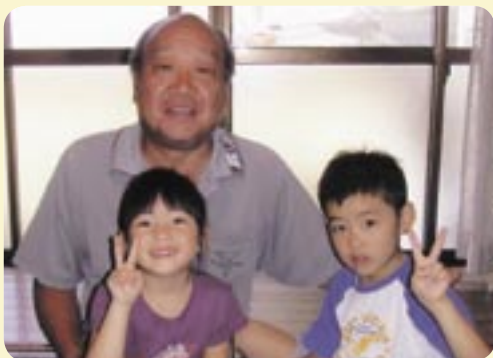
■ミルカナ・メスキン氏

2005年 国立ソフィア美術アカデミー大学院テキスタイル科卒。ブルガリア芸術協会にてテキスタイルと金属展。芸術における子ども展を開催。ブルガリア芸術家協会会員。キリル氏の令嬢。



ミルカナ・メスキン氏の作品「スクリーンインレッド(赤い仕切り)」

わが家の笑顔



つげ 健汰ちゃん (写真右)

平成 13年 9月 15日生

つげ 有佑理ちゃん (写真左)

平成 16年 9月 21日生

(真壁町長岡地区)

おじいちゃんからひとこと

ひょうきんで元気な健汰と恥ずかしがりで世話好きな有佑理。元気に大きく育ってね。



ひぐち 菜々美ちゃん (写真左)

平成 16年 11月 29日生

(真壁町下小幡地区)

おばあちゃんからひとこと

歌って踊って、パワフル元気な菜々美ちゃん！菜々美ちゃんの笑顔が家族で癒されています。いつまでも笑顔の似合う女の子でいてね♡

※このコーナーに掲載をご希望の方は、秘書広報課 (☎58-5111・75-3111/内線 1268) までお申込みください。

広報 さくらがわ No.73 10月1日発行

発行：桜川市/月2回(1日/15日)
編集：市長公室秘書広報課
TEL：0296-58-5111・75-3111(代表)
FAX：0296-58-5115
〒309-1293 茨城県桜川市羽田 1023 番地
ホームページ <http://city.sakuragawa.lg.jp>
Eメール info@city.sakuragawa.lg.jp



【表紙】女装した男性が、早いリズムに合わせ深く腰をかがめながら、昆虫のおけらが土を掘り起こす動作で踊る、西小塙1区の「けら踊り」は、260年の歴史を持つ伝統芸能で、農民一揆で死罪になった3人の村人への供養が始まり。

寛永2(1749)年、凶作による年貢軽減を求め笠間藩に直訴した村人は、笠間城に向かう途中、役人の目を逃れるために女装したと伝えられます。